

六甲高山植物園

早春に咲くバイカオウレン

早春、ほかの花がまだの時期に咲くバイカオウレン=写真。直径1センチほどの花はひときわ、かれんだ。2023年NHK連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルになり、一躍有名になった植物学者の牧野富太郎博士は、高知県高岡郡佐川町生まれ。生家のすぐ裏にある神社の石段脇に咲くこの花を生涯愛したと言われている。



白い花びらに似たがく片と黄色の蜜腺を持つ花弁、常緑の端正な五角形の葉が特徴だ。今期は暖冬傾向のため、予定より約2週間早く2月10日～3月10日の土日祝限定で、「冬季特別開園」を実施する。ほかにも、黄金色のフクジュソウやセツブンソウ、ザゼンソウなど早春の花が楽しめる。また3月16日はいよいよシーズンオープン。8月18日までは牧野博士の関西での足跡を貴重な資料で紹介する「牧野の足あと～博士と関西の仲間たち～」を開催する。☎078・891・1247

六甲山ジギスカンパレス

冷凍しない「生ラム」人気

六甲山のジギスカン=写真=の歴史は古く、清水雅氏(阪急百貨店初代社長)が戦前に中国・北京で食べたジギスカンに感銘を受け、鍋を持ち帰ったことが始まりだ。戦後、その鍋を複製し、夏の避暑地として過ごす六甲山にあった六甲山ホテルで、1956年にジギスカンの提供を始めた。

魚やエビなどもまぜた日本式ジギスカンは好評で、毎日千人以上が来館する大繁盛となった。これを契機に、六甲山上でジギスカン料理店が増え、76年に六甲山ジギスカンパレスが開業した。現在では六甲山上への流通が発達し、一度も冷凍されていないラム肉「生ラム」が人気だ。風味が落ちず、ラム特有の臭いも少ないため、一層おいしく食べることができる。また、創業以来受け継がれてきた秘伝のたれは、しょうゆベースの甘辛でフルーティーな味わいが特徴で、肉・海鮮・野菜などの相性は抜群だ。☎078・891・0225



六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(3月は21日木曜日に掲載します)

高取山の老舗「月見茶屋」再開



レトロな雰囲気はそのままだが、花や季節の飾りで華やかに神戸市長田区月見茶屋

1月15日付本欄で高取山の「中の茶屋」を取り上げた際、昨年10月に閉店した月見茶屋についても触れたところ、「月見茶屋は近く再開します」という前向きな情報が寄せられた。発信者は、「神戸ツキワ登山会」の村上美枝子さん。今後どうなるかが気になっていたので、大正12(1923)年創業の月見茶屋は、100年の歴史の中で何度か経営者が変わっている。46年ほど前から毎日登山で高取山に登っているという村上さんによると、関東炊きやいなりずしを並べて売っていたこともあったという。昨秋まで切り盛りしていた川



以前の看板を塗り直し、装いも新たに登山会の名前も書かれた六甲山市長田区、月見茶屋

昨年閉店「神戸ツキワ登山会」が継ぐ



高取山の山頂近くからの眺望。神戸市長田区

お絵巻を作ってほしい」「おでんを出してほしい」などの要望もあり、今後は様子を見ながらメニュー増加を検討していくという。高取山に限らず、六甲山にある茶屋はそれぞれ個性的で、名物メニューもいろいろ。登山会の運営というところで、ほかとは事情が異なるのだが、歴史ある茶屋だけに、ここを訪れることが楽しみにされるような新たな名物が生まれることを切望する。村上さんは、親切で気さくな人柄。高取山には猫が多く、茶屋前のベンチでよくつろいでいる。茶屋が開いたらぜひ立ち寄って、入れているのコーヒーを飲みながら、レトロ空間でおしゃべりを楽しんでほしい。月見茶屋(神戸市長田区高取山町103の8)。午前6時～10時。火曜定休(悪天候時は休業)。

神戸布引ハーブ園

いちご尽くしスイーツ登場

ロープウエーで約10分。標高約400mの高台に位置し、港町神戸の街並みが一望できるリゾート施設「神戸布引ハーブ園/ロープウェイ」では、22日からいちご尽くしのオリジナルスイーツやドリンクが登場する「ストロベリーセレクション」=写真=を開催する。ハーブガーデンをイメージした色鮮やかなランチが人気のレストラン「ザ・ハーブダイニング」、カフェラウンジ・テラス「ザ・ヴェランダ神戸」で堪能できる。



3月16日からは「GARDEN FEST 2024-Spring-」がスタート。屋外空間で厳選したドイツビールやワイン、オリジナルのハーブソーセージや子羊のプロシュット(串焼き)などを味わう「ハーブマルシェ」、ハーブ園オリジナル弁当などのピクニックセットがそろった「ガーデンピクニック」(1日10組限定、要事前予約)なども実施する。2月21日まで休園。☎078・271・1160



◆六甲山スノーパーク「ソリごたつ」3月3日までの土日祝10～12時と14～16時、六甲山スノーパーク スノーランド(六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「スノーパーク前」)。「アツい」をテーマにした開業60周年記念の今シーズン限定イベントで、こたつ布団に入ったまま「こたつ」の形をしたソリで雪上を走行できる=写真。無料(入場料が別途必要)。対象は1人で乗れる子どもから。天

候・ゲレンデ状況などにより中止する場合があります。同パーク☎078・891・0366

◆3月のミントサロン「灘区、一王山鳥瞰(ちょうかん)図の制作過程・最新の初代神戸駅鳥瞰図解説」3月27日(講演)19～20時、(懇親会)20時～20時半、ミント神戸18階のミントテラス(JR三宮駅)・一王山鳥瞰図の制作過程や描画作業の紹介や、今年5月に開業150周年を迎える神戸駅の復元鳥瞰図について鳥瞰図絵師の青山大介さん=写真=が話す。参加費500円。先着50人。要予約。住所、氏名、電話番号、ファクス番号、年齢、性別を明記し、メール(mintsalon@kobe-np.co.jp)またはファクス(078・360・5514)で申し込む。六甲山大学事務局ミントサロン係☎078・362・2983



健康学部

◆「六甲山焚(たき)火クックハイク」春のアイスロード編 3月24日9時～14時半、六甲ケーブル下駅集合。アイスロードを登って「THIRD PLACE ROKKO」を目指すコース。六甲山の遺跡探検あり。焚火でクッキングをし、暖を取りながら春の六甲山を楽しむ=写真。参加費5500円(食事代など含む)。要予約。定員10人。ホームページから申し込む。同店☎078・891・0529



環境学部

◆はじめての方歓迎!六甲山で野鳥観察を楽しもう! 3月16日10～12時、六甲山ビジターセンター集合(六



甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「記念碑前」。自然豊かな同センターとその周辺で野鳥観察を行う=写真。講師は日本野鳥の会ひょうごの紀田俊明さん。双眼鏡があれば持参。無料。定員20人(応募多数の場合は抽選)。対象は小学生以上(小学生は保護者同伴)。3月1日までにメール(kobe_kem@pref.hyogo.lg.jp)などで申し込む。神戸県民センター県民交流室六甲山イベント係☎078・647・9094

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲山大学 ROKKO-SAN DAIGAKU 六甲山大学・情報凝縮サイト 653daigaku.com わたしたちは 六甲山大学 の活動を応援しています 協賛企業 Daiwa House TAKENAKA 想いをかたちに 未来へつなぐ (順不同)